

# 福島第一原子力発電所 1号機 オペレーティングフロア調査の実施について

2018年6月28日

TEPCO

## 東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

### 1. 調査の概要

TEPCO

#### ■ 調査目的

- 1号機原子炉建屋の屋根（以下崩落屋根）は、オペレーティングフロア（以下オペフロ）床上にあり、中央から南側に向けて隆起し、南側は使用済燃料プール（以下SFP）上にある天井クレーン上に落下している。
- 南側ガレキ撤去の際に、ガレキ等がSFP内へ落下してSFP及びSFP内に保管する燃料が損傷するのを防止するため、SFP保護等のガレキ落下対策を検討しており、準備工事として、Xブレース切断及びSFP周辺のガレキ撤去を実施する計画である。
- 本調査は、SFP周辺ガレキ撤去時のダスト影響評価、ガレキ落下対策の作業計画立案に必要なデータを取得するために実施する。

#### ■ 調査内容

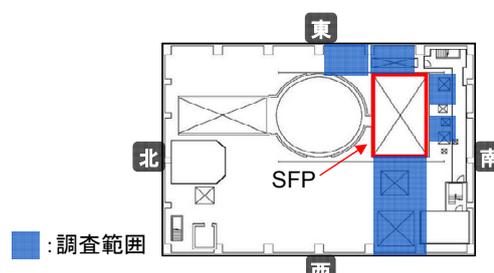
- ① 崩落屋根下ガレキ表面の空間線量率測定（ダスト影響評価用）
- ② 3D計測（ガレキ落下対策立案用）

#### ■ 調査範囲

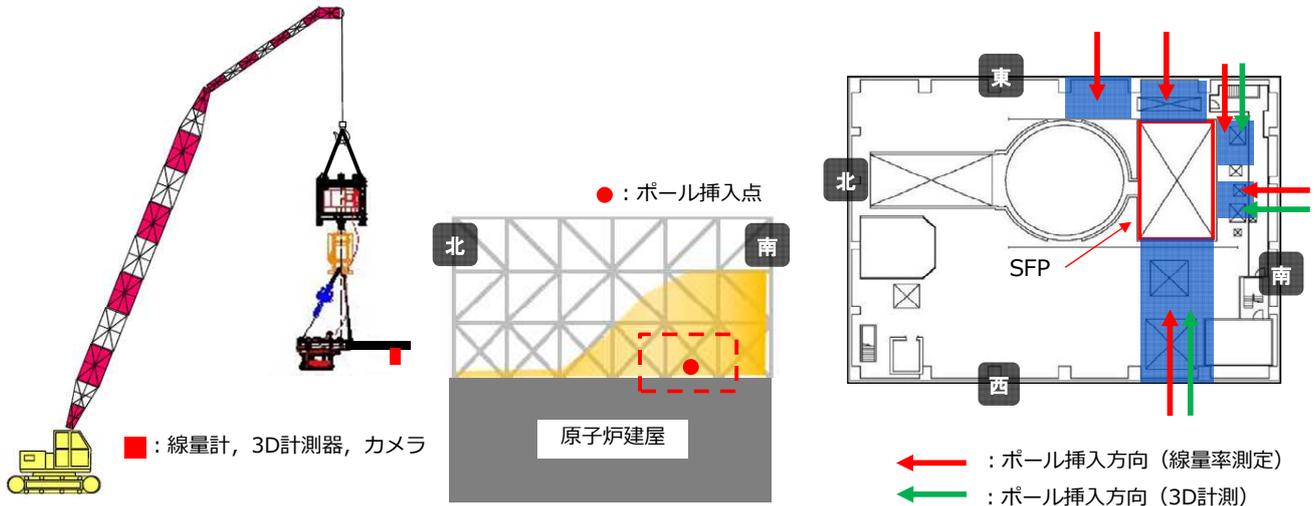
SFP周辺を対象に調査を実施

#### ■ 調査期間

2018年7月中旬から8月下旬にかけて実施予定



- 各測定エリアで3ポイント測定
- 測定高さはオペフロ床面近傍
- ガレキとの干渉を回避するため、ポール挿入方向・挿入点及び測定箇所を調整する。



進捗状況 (Xブレース撤去に干渉する支障物撤去)

- 今後実施する南側ガレキ撤去に際し、ガレキ等がSFPへ落下することを防止するため、SFP保護等を実施予定。
- SFP保護等は、作業床 (設置済み) からアクセスを計画しており、ルート確保のため一部のXブレースを撤去 (東面2箇所、西面1箇所、南面1箇所の計4箇所) する。
- 2018年5月10日からXブレース撤去に干渉する支障物の撤去を開始し、現在、東面の支障物撤去を実施中

主な支障物



2017年4月  
(支障物撤去着手前)

2018年6月  
(支障物撤去着手後)

Xブレース撤去に干渉する支障物撤去の状況写真 (東面)

- 今後実施する南側ガレキ撤去に際し、ガレキ等がSFPへ落下することを防止するため、SFP保護等を実施予定。
- SFP保護等は、作業床（設置済み）からアクセスを計画しており、ルート確保のため一部のXブレースを撤去する。
- Xブレースの撤去は、建屋カバー梁に設置した東西南の作業床に撤去装置を設置し、東面2箇所、西面1箇所、南面1箇所の計4箇所実施する。
- Xブレースの撤去のステップは、以下の通り。

**Xブレースの撤去**

